

(様式第4号)

上田市丸子公民館運営審議会 会議概要

1 審議会名	上田市丸子公民館運営審議会
2 日時	令和6年3月21日 午前9時10分から午前10時30分まで
3 会場	丸子公民館 3階 会議室
4 出席者	竹花のり子 委員、寺尾雄二郎 委員、吉澤基 委員、吉村かつえ 委員、柳沢裕美 委員
5 市側出席者	小林館長、中村次長、小林補佐、高野係長、永井主任
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和6年3月21日

協 議 事 項 等

1 開 会
2 あいさつ
3 協議事項
(1) 令和5年度後期(10月～3月)事業について(事務局から報告)
委員：国際交流事業は丸子地域の独自事業であり、伝統がある。引き続き頑張ってもらいたい。
(2) 令和6年度事業について(事務局から説明)
委員：スポーツや運動は、生活習慣病対策として、有効、必要であり、企業内でも取組みが進んでいる。シニアの活躍が推進される一方で、体力の個人差が大きく、事故やケガの原因としても躓きや転倒が多い。健康診断のように体力診断を実施し、可視化や数値化により体力が見える化することが重要だと思う。自分の子供が今年中学生になるが、ゲームが好きでインドアの傾向が進んでいる。そういった社会課題に、スポーツイベントがとても大事。多世代で楽しめる内容で企画してほしい。
委員：フラダンスのグループ30人弱で、登山部を発足した。近くの山に初心者でも楽しめる簡単なコースがある。子供も含め多世代が参加できる近くの山を登るイベントが定期的であればいい。
委員：中学部活が地域に移行する中で、その代わりが課題だと思う。子供にとって運動・スポーツは、競技としてだけでなく、体力づくりの面でとても重要な役割がある。保護者の送迎や参加費負担などが少ない、近場で手軽なイベントがあるとすごくいい。行政のイベントはそういう点ですごく有難いし、重要だと思う。
委員：学校の働き方改革の一環で、部活動の地域移行化が進められるが、地域のなかで受け皿をどうするのか課題である。指導者不足や種目により、人数が少なく競技として成立しないなどの難しい面がある。
委員：体力づくりイベントとしては、どのようなものがあるか？
事務局：公民館事業では、まるこ春秋学園の歴史散策コースが好評で、新年度も引き続き開講が決まっている。部活動の地域移行については、スポーツ推進審議会等で、今後のあり方を検討していく。
事務局：体育事業では、爆水ランなど各種イベントの開催予定があるが、今後もスポーツ推進委員会など関係団体・関係者と協議し、企画・開催の検討をしていく。

(3) その他

事務局：コミュニティー活動について、先月改訂した「学校支援ボランティアの案内パンフレット」の配付等で周知を図り、今後市全体で盛り上がるように頑張りたい。

委員：丸子は、地域コーディネーターが機能しており、その名の通り、地域と学校を繋ぐ重要な役割を果たしている。地域コーディネーターが両者の間に入り、学校ニーズを捉えた上、人材紹介等の協力により、学校運営が活性化されている。

委員：ボランティアと学校を繋ぐことが本当に難しい。学校の先生たちは人事異動があり、その影響で活動が途切れやすい面がある。そこに地域コーディネーターが入ることで、学校支援ボランティア活動を上手く調整する役割が求められるが、簡単なことではなく課題でもある。

委員：ボランティアは、いざという時に都合が合わないことが多く、大勢いるようでもいないようなものと思っている。最後は子供たちの未来のため、その志で仲間になる。今まで教頭先生がやってきた役割を少しでも手助けできればという思いで始め、気づいたら今になっていた。

4 その他

5 閉会